

令和 7 年 1 月 1 5 日

令和 7 年度予算（案）の伝達等について

令和 6 年 12 月 27 日に文部科学省から伝達のありました本学の令和 7 年度国立大学法人運営費交付金予定額及び令和 7 年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業等について報告します。

国立大学法人運営費交付金等

総額 35 億 4, 489 万円 対前年度当初比 1, 096 万円減

文部科学省より伝達のあった本学分の予算（案）に係るポイントは次のとおり。

● 教育研究組織改革分

教育・研究力強化等に向けた学部等改組をはじめとした教育研究組織改革（大学間連携による地方創生、デジタル・グリーン、国際頭脳循環等）を推進するための「教育研究組織改革分」について、国立大学全体に係る新規要求分の経費として 93 億円が計上された。

本学については、拡充分として「共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所」の取組に係る経費が計上された。

拡充分 7, 376 万円（継続分 2, 779 万円と合わせると水素エネルギー総合研究所分としては 1 億 155 万円。他の継続分を含む教育研究組織改革分全体では 2 億 3, 446 万円）

● 基盤的設備等整備分

DX 化に資する設備等の整備を通じて業務効率化を推進するとともに、教育研究等の基盤的な設備整備や維持・継続に必要な環境整備への支援を実施するため、国立大学全体に係る経費として 117 億円が計上された。

本学については、DX 化に資する設備として、事務局「教育・学生支援の充実と教育研究活動の質の向上に貢献する学務・学術情報システム」に係る経費が計上された。

2, 681 万円

● 附属学校機能強化分

附属学校が現在の教育課題の解決を主導するモデル校として、そのミッションを果たすための附属学校改革や機能強化の取組を支援するため、国立大学全体に係る経費として 5 億円が計上された。

本学については、学校支援人材の配置に係る経費が計上された。

702 万円

● 共同利用・共同研究拠点の強化

文部科学大臣が認定する「共同利用・共同研究拠点」及び「国際共同利用・共同研究拠点」における拠点としての基盤的な活動を支援するため、国立大学全体に係る経費として 58 億円が計上された。

本学については、環境放射能研究所が参画する「放射能環境動態・影響評価ネットワーク共同研究拠点」の基盤的な活動に係る経費が昨年度に引き続き計上された。

1, 353 万円

● 成果を中心とする実績状況による配分

教育・研究活動の現場における行動変容や法人全体としての経営改善に向けた努力を促すとともに、国立大学への公費投入・配分の適切さを国民・社会に示すため、教育研究活動の実績、成果等を客観的に評価しその結果に基づき配分を行う「成果を中心とする実績状況による配分」が昨年度に引き続き実施された。

国立大学全体の配分対象経費及び配分率は令和4年度から6年度と同一であり、1,000億円を対象として、配分率75%~125%で配分が行われた。

本学については、配分対象基礎額が3億3,196万円で設定され、相対評価の結果、823万円の減となる次の額が計上された。

3億2,373万円

● 建物新営設備費

第一体育館改修工事及び附属特別支援学校高等部棟改修工事に伴う設備費が計上された。

747万円

● 移転費

第一体育館改修工事及び附属特別支援学校高等部棟改修工事に伴う移転費が計上された。

186万円

【令和6年度補正予算計上事項】

● 国立大学等における教育研究基盤の強化等（国立大学法人設備整備費補助金）

各国立大学等より要望のある優先度の高い教育研究基盤設備や組織の枠を超えて効率的・効果的な活用を行う中規模研究設備等の環境整備を支援するため、国立大学全体に係る経費として180億円が計上された。

本学については、食農学類「農林生態系における環境同位体の追跡システム」の整備に係る経費が計上された。

1億500万円

● GIGAスクール構想の推進～1人1台端末の着実な更新

GIGAスクール構想第2期において着実な端末更新を進めるため、国立大学等の端末整備に係る経費として28億円が計上された。

本学については、次の額が計上された。

1,216万円

国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業

令和7年度当初予算（案）には計上されず、令和6年度補正予算において次の事業が計上された。

- （金谷川）情報基盤センター改修（単年度）
- （金谷川）ライフライン再生Ⅱ（排水設備）（単年度）

（お問い合わせ先）

財務課予算係 亀田 翔

電話：024-548-8014

メール：zaimu@adb.fukushima-u.ac.jp